病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 （研究番号）	認知症マフ使用による抑制代替の効果　拘束に頼らない認知症との付き合い
当院の研究責任者 （所属）	砂川　孝子
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	認知高齢者への看護において安全確保や治療の継続を目的として身体抑制を行われる場合がある。身体抑制による身体的・精神的苦痛につながる可能性があるため代替手段の検討が必要と考える。そこで認知症マフを使用し、患者の不安の減少、点滴などの医療デバイスから注意を分散させることで、自己抜去の件数を減少、身体的・精神的の安楽を目的とした看護ケアを考察する。
研究実施期間	研究期間の長の許可日～2026 年 12 月 31 日
調査データ(該当期間)	2026 年 9 月 1 日～11 月 30 日
研究の方法 （利用する試料・情報等）	●本研究の対象者様 本研究の対象は、以下の方々です。 ・認知症と診断されている 65 歳以上の高齢者 ・認知症マフの使用が可能な者 ・認知症マフの使用について本人または代諾者から同意が得られる者 ・認知症マフの使用による反応や変化を観察することが可能な者 ・身体抑制枝押している、または身体抑制の必要性がある者 ●利用する試料・情報 ・患者の年齢、性別、診断名、認知症の診断名・程度、ADL、身体抑制の実施状況 ・対象者へ作成した認知症マフを使用する。 ・認知症マフ使用による患者の反応・変化、身体抑制への影響、および患者本人、家族、病棟スタッフの認識について調査 ・患者本人の反応や変化、家族および病棟スタッフの認識を明らかにすることで、認知症マフが身体抑制の代替手段となり得る可能性を検討する。

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
試料・情報の二次利用	本研究で得られた情報は、匿名化した上で適切に保管し、将来、関連する医学研究に二次利用する可能性があります。二次利用する場合は、その都度、倫理審査委員会の審査・承認を受けた上で実施し、利用目的の範囲を超えて使用することはありません。
個人情報の取り扱い	本研究で用いる情報は、患者さんの氏名・住所・生年月日等の個人を直接特定できる情報を削除し、対応表を用いて連結可能な形で匿名化（連結可能匿名化）した上で取り扱います。対応表は研究責任者が施錠可能な場所で厳重に管理し、研究に関与する者以外がアクセスすることはできません。 研究成果を学会発表や論文として公表する際には、個人を特定できる情報は一切含めず、集計されたデータとしてのみ公表します。 なお、本研究で得られた情報は、研究の目的以外には使用しません。また、法令に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者に提供することはありません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示するべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：098-884-5111（代表） 担当者：砂川　孝子
備考	本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし解析・発表後は研究対象から除外することはできません